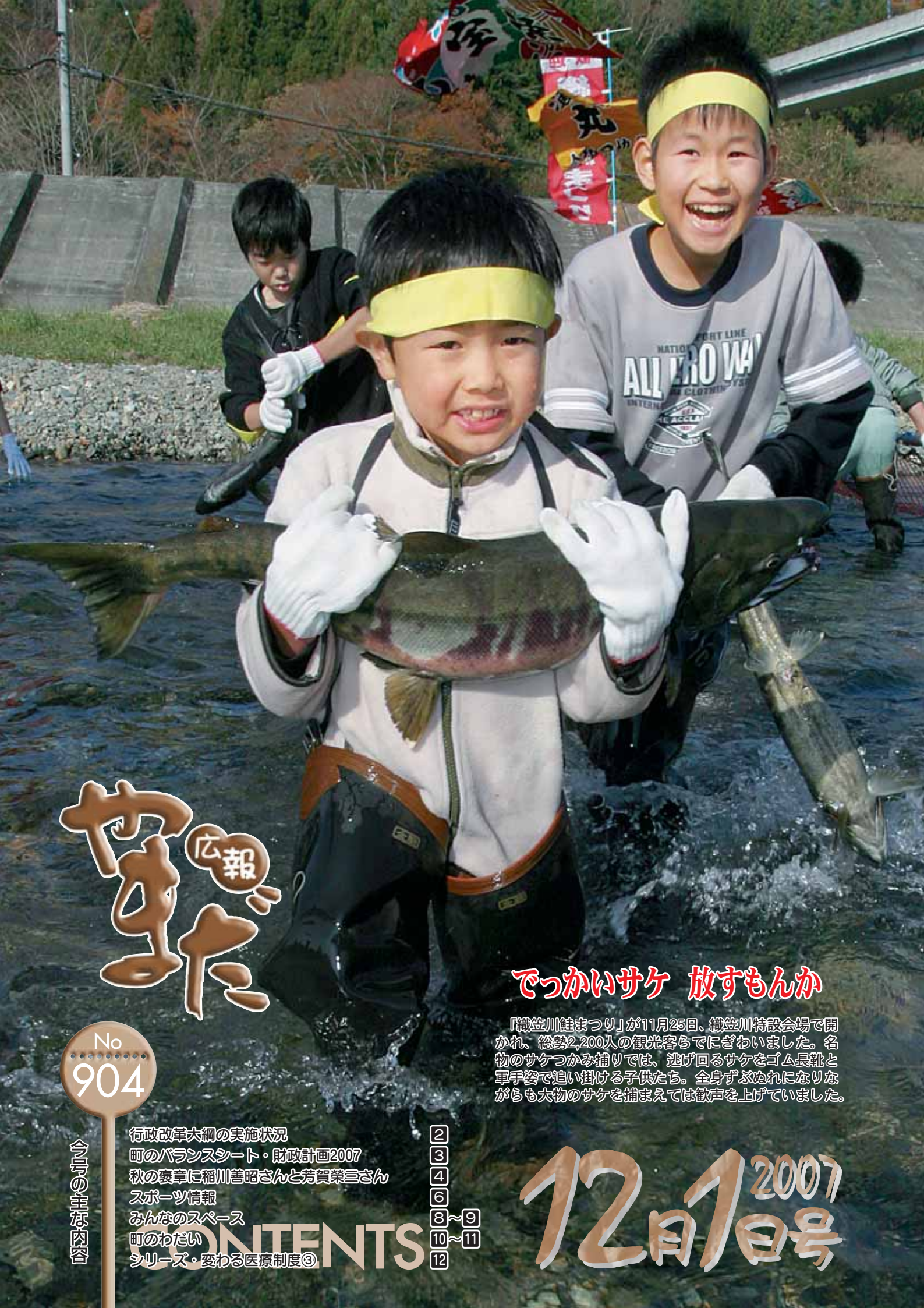


広報やまだ

No 904

でっかいサケ　放すもんか

「織笠川鮭まつり」が11月25日、織笠川特設会場で開かれ、総勢2,200人の観光客らでにぎわいました。名物のサケつかみ捕りでは、逃げ回るサケをゴム長靴と軍手姿で追い掛ける子供たち。全身ずぶぬれになりながらも大物のサケを捕まえては歓声を上げていました。

12月1日号 2007

今号の主な内容

CONTENTS

行政改革大綱の実施状況 2
町のバランスシート・財政計画2007 3
秋の褒章に稲川善昭さんと芳賀榮三さん 4
スポーツ情報 6
みんなのスペース 8〜9
町のわだい 10〜11
シリーズ・変わる医療制度③ 12

行政改革

効率的な行財政運営を目指して

2年間で37項目を実施

町民委員で構成する行政改革懇話会の提言を受け、町では平成17年から21年までの5年間を計画期間とする「山田町行政改革大綱」を策定し、事業や組織のあり方などを見直してきました。今号では、行政改革大綱および集中改革プランの実施状況をお知らせします。

町では▼住民の選択と負担に基づき行政サービスを提供する分権型社会▼住民の自助・共助が発揮される住民協働による補完型社会▼地域のさまざまな力を結集し共に歩む自律的な行政組織――の3つを改革の視点とし、63項目の改革事項を盛り込んだ行政改革大綱・集中改革プランで事業の見直しや新しい組織づくりに取り組んできました。

平成21年度までに実施される63の改革項目のうち、17年度と18年度で実施されたのは37項目で、全体の58・7％に当たります。このことによる経費の削減効果額は、概算で2億2349万円となりました。

主な実施項目としては▼豊間根保育園運営事業の民営化▼図書館車運行事業の廃止▼指定管理者制度の導入▼住民協働推進室の設置▼職員定員の削減――などがあります（下表）。

今後もより一層効率的で機能的な行財政の運営を目指し、行政改革大綱・集中改革プランに基づいた事業や組織の見直しを進めていきます。

◆問い合わせ 役場総務課住民協働推進室（☎82－3111内線440）へどうぞ。

職員の執務状況

◆行政改革の実施状況（平成17年度、18年度）

区　分	主な実施事項
事務事業運営の合理化と効率化	施設・事業の廃止（大畑コミュニティセンター、図書館車運行事業など）、豊間根保育園運営事業の民営化、林産物展示販売施設（道の駅やまだ）への指定管理者制度導入、簡易水道等施設維持管理の民間委託など
総合性、機動性を備えた簡素で機能的な組織	住民協働推進室の設置、水道事業所の本庁舎移転、各種審議会や委員会の統合整理など
職員定員および給与などの抑制	職員定員の縮減、特別職・一般職の給与縮減、寒冷地手当の廃止、管理職手当の減額、旅費日当額の引き下げ、時差勤務の実施、人事行政運営状況の公表など
職員人材の育成	人材育成基本方針の策定、職員勤務評価の試行、職員対象の応急手当講習会など
住民協働による行政運営	各種審議会などの公募委員の拡大、町行政出前講座の実施など
自立性の高い財政運営	補助金の見直し（納税貯蓄組合、山田町社会福祉協議会など）、議員報酬の減額、臨時職員の縮減、事務改善運動の実施、町税収納率の向上、各種収入未済額の縮減、遊休資産の有効処分、使用料・手数料の引き上げなど

用語解説

【行政改革大綱】

町が組織や運営の合理化に努めるため実施する、行政改革の取り組みについて示したもの。町の進むべき方向を示した山田町総合発展計画を着実に推進するため、仕事の進め方や考え方を見直して行政のあり方や方向性を示す役割を担っています。

【集中改革プラン】

行政改革大綱を具体的に実施するための実施計画書。総務省の「地方公共団体における行政改革推進のための新たな指針」に基づき定められたものです。

財政公表

▷問い合わせ　役場企画財政課財政担当（内線431）へ。

バランスシート（平成18年度）

町民1人当たり

資産は180万円、負債は61万円

町では、平成18年度の決算に基づいてバランスシートを作成しました。

バランスシートとは、財産の中身や財政状況を示した表で、貸借対照表と呼ばれるものです。

バランスシートの左側は町が所有する資産（土地、建物、現金など）で、右側は資産形成に要した負債（借入金など）と正味資産（資本金など）です。バランスシートを作ることで、町にどのくらい財産があり、どのくらい借金を抱えているのかが明らかになります。また、町が一年間に町民の皆さんの資産をどれだけつくることができたのか、把握することもできます。

一般会計のバランスシートは上図のとおりとなっており、資産総額は365億1017万円（町民一人当たり1797772円）、負債総額は122億8855万円（同605765円）、正味資産総額は242億2162万円（同1195400円）になります。

町の会計は、一般会計のほかに6つの特別会計と水道事業会計があり、これらをすべて総計した「連結バランスシート」も作成しています。これによると町の資産総額は484億8890万円、負債総額は182億8504万円、正味資産総額は302億3862万円となります。

◆一般会計のバランスシート（平成19年３月31日）

資　産
365億1,017万円
（前年度より４億7,921万円減）

町にどのような資産があるかを表示。町はこれらの資産（土地、建物・現金など）を有効に活用することで、町民の皆さんにさまざまなサービスを提供することができます。

1. 有形固定資産　334億1,360万円
　（うち土地　53億7,400万円）
2. 投資等　13億7,227万円
3. 流動資産　17億2,430万円

負　債
122億8,855万円
（前年度より３億4,615万円減）

町にどれくらいの負債があるかを表示。毎年度の経費に加えて、これらの負債返済のため、町民の皆さんに負担を求めることになります。

1. 固定負債　113億9,601万円
2. 流動負債　8億9,254万円

正味資産
242億2,162万円
（前年度より１億3,306万円減）

資産の形成に充てた国・県支出金、町税などを表示しています。

1. 国県支出金　94億6,561万円
2. 一般財源等　147億5,601万円

財政計画2007

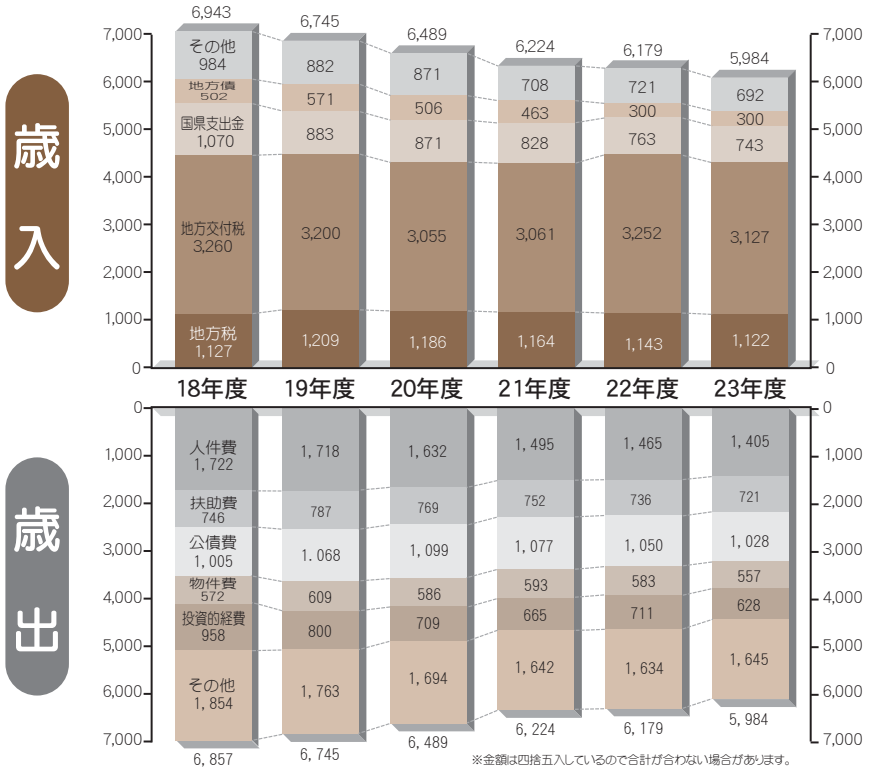
町では、中長期的視野に立った財政運営を進めるための「財政計画2007」（一般会計）を策定しました。

これは昨年度策定した「財政計画2006」を平成18年度決算統計の実績や平成19年度普通交付税の決定額を基に見直したもので、昨年度スタートした第８次山田町総合発展計画（平成18年度から22年度までの５カ年間）を実現するための財政運営の指針となるものです。町は、これまで財政再建団体（民間でいう破産）への転落を回避するため、行政改革に沿って人件費の削減や公共事業の見直しを進め、歳出規模を縮減してきました。

今後も身の丈にあった健全な財政運営に努めていきますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

◆財政計画（平成18年度～23年度）

〔単位：百万円〕



秋の褒章

平成19年秋の褒章で、稲川善昭さんが藍綬褒章、芳賀榮三さんが黄綬褒章を受章しました。お二人の長年にわたる功績に、光が当てられました。

藍綬褒章

県内の美容技術向上に尽力

生活衛生功績
稲川善昭（よしあき）さん
（川向町・64歳）

川向町の稲川善昭さん(64)が、公共の利益に寄与した方に贈られる藍綬褒章を受章しました。

稲川さんは受章の喜びを「大変うれしく思います。業界の皆さんの協力のおかげだと感謝しています」と語っています。

美容室を経営する稲川さんは、県美容業生活衛生同業組合役員や副理事長を20年以上にわたって務め、平成11年に理事長に就任。14年、上部団体である全日本美容業生活衛生同業組合連合会の常務理事に就任しました。

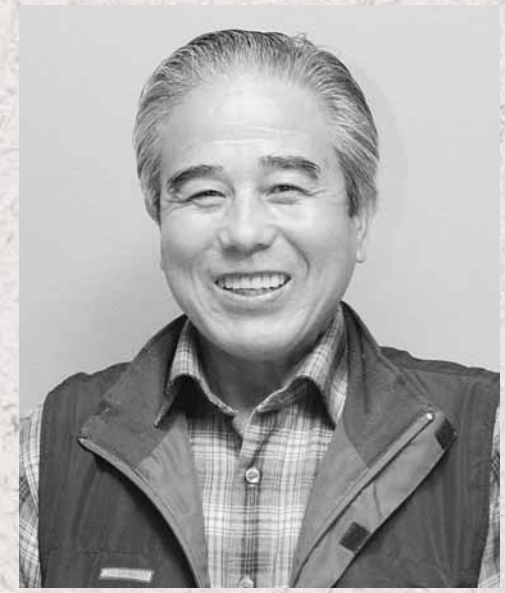
昨年10月に滝沢村で行われた全国美容技術選手権大会では稲川さんが実行委員長を務め、本県から優勝1人、入賞者10人が選出されるなど、県内の美容技術の向上に力を尽くしました。

また、高齢者や障害を持つ人に配慮した美容師を養成する「ハートフル美容師」制度の立ち上げに携わったほか、出張美容訪問サービスを県内で先駆けて本町で実施するなど、福祉の分野にも大きく貢献しました。

「今後は、岩手の美容技術レベルの底上げを図り、多様化するお客さまのニーズに対応した組合づくりに力を注ぎたい」と話していました。

黄綬褒章

高品質のシイタケ作り25年



業務精励
芳賀榮三（えいぞう）さん
（豊間根・62歳）

豊間根の芳賀榮三さん(62)が、長年一つの仕事に打ち込んだ方に贈られる黄綬褒章を受章しました。

「褒章をいただけるなんて、考えたこともありませんでした。これが農林業活性化のきっかけになれば」と喜びを語ります。

25年前にシイタケ栽培を始めた芳賀さんは、現在有効ほだ木10万本を有し、年間生産量は約3㌧。不作にもめげずに毎年3万本を植菌し、懸命にほだ木の本数を拡大し続けてきました。

また、芳賀さんは品質向上のため、同年代の生産者たちと県内外への視察や研修会に参加し、研究を重ねてきました。「一人だけ努力してもなかなか評価されにくいものです。みんなで良い物を生産してきたからこそ、山田産シイタケの評価が上ってきたと思います」とこれまでの努力を振り返ります。研究の成果もあり、芳賀さんが作る乾シイタケは全国規模の品評会で8回の農林水産大臣賞を受賞するなど、高い評価を得ています。

「わたしたちの代で終わらせることなく、いずれは息子に継がせたいと考えていますが、それまでは生涯現役で頑張りたい」と意欲満々の様子でした。

南山田環境衛生実践会
模範地区で環境大臣表彰受ける

11月16日、実践会役員の織笠智安さん（写真中央）と山田町公衆衛生組合連合会の豊間根彪会長（写真右）が受賞報告のため沼崎喜一町長を表敬訪問しました

境田町と川向町の住民で組織する南山田環境衛生実践会（豊間根三良会長）が、生活環境改善模範地区として環境大臣の表彰を受けました。同表彰は、循環型社会推進のため功績のあった個人や団体に贈られるものです。

同実践会は、地区内で団結した衛生活動に取り組むため「山田町川向地区衛生実践会」として昭和34年に発足。地区民が一丸となって害虫の駆除や公衆衛生道徳意識の高揚に努めてきました。昭和62年に境田地区と統合し「南山田環境衛生実践会」となってからも、漁港や地域内の清掃に積極的に取り組むなど、49年にわたる環境衛生活動が高く評価されました。

豊間根会長は「長い間地域の先輩方が一生懸命取り組んできたことが認められ、大変うれしく思います。わたしたちもその心を受け継ぎ、清掃活動を続けていきたい」と話していました。

沼崎さんと後藤さん 県衛連会長表彰

織笠の沼崎迥さんと長崎の後藤嘉男さんが県公衆衛生組合連合会長表彰を受けました。

同表彰は、長年地域の衛生活動に努力した方に贈られるものです。

沼崎さんは町公衆衛生組合連合会副会長をはじめ、織笠地区コミュニティ推進協議会事務局長などを歴任。16年にわたり環境衛生活動を続けてきました。また、後藤さんは町公衆衛生組合連合会理事や山田中地区衛生実践会役員を務め、27年にわたり清掃活動や環境美化活動に力を注いできました。

沼崎　迥（とおる）さん
（織笠・76歳）

後藤嘉男（よしお）さん
（長崎・70歳）

第59回全国理容競技大会
湊樹理さんが敢闘賞受賞

第59回全国理容競技大会で、中央町の湊樹理さん（27）が全国8位となる敢闘賞を受賞しました。

大会は10月22日に滝沢村の岩手産業文化センターで行われ、湊さんが出場した第2部レディスカットヘアには全国から選ばれた70人が参加。同部門では、40分の制限時間内にカットから髪型のセットまでを行う技術を競い合いました。

同大会の様子。真剣な表情で髪型をセットする湊樹理（じゅり）さん（写真右）

「大会には6回目の参加で、今回で最後にしようと思っていたので、本当にうれしかったです」と受賞の喜びを話す湊さん。

本県の入賞者は湊さんと松本剛さん（奥州市）の2人で、県勢の受賞は昭和30年の第8回大会以来、51年ぶりの快挙となりました。

大会に向け、湊さんら岩手県出場者はチームを結成してコーチから指導を受けたり、仕事が終わってからも夜遅くまで練習したりするなど、技術向上に努力を積み重ねてきました。

「この賞をいただけたのも、モデルになってくれた友人や練習に協力してくれたスタッフ、家族の支えのおかげです。とても自分一人ではここまで来れませんでした」と温かくサポートしてくれた周囲の人たちへ感謝の思いを語ります。

今後の抱負については「これから大会に出ようと思っている後輩を支えていけるようになりたいです。そのためにも、自分の腕をもっと磨いていきたいですね」とさらなるスキルアップに意欲を見せていました。

スポーツ情報

奥州前沢マラソン・リトルの部
織笠小児童が上位を独占

昆　充（みつる）君
（織笠小６年）

阿部俊介（しゅんすけ）君
（織笠小６年）

第25回スポニチ奥州前沢マラソンのミニマラソン・リトルの部で、昆充君（織笠小６年）が優勝、阿部俊介君（同６年）が２位に入賞しました。

大会は11月４日に奥州市前沢区で行われ、同リトルの部（4・21㌔）には県内外から187人が参加。昆君はスタート直後から首位を独走し、15分39秒の素晴らしいタイムでテープを切りました。また、阿部君も昆君を追う形で２位をキープし、そのままゴール。織笠小児童が上位を独占する力走を見せました。

昆君は「去年は５位だったので、今年は優勝目指して放課後に練習してきました。中学校では野球部に入ろうと思っていますが、駅伝にも出れるように頑張りたい」、阿部君は「２位に入賞できてうれしかったです。中学生になったら駅伝に出てみたい」と今後の活躍に意欲をのぞかせていました。

県高校新人空手道大会
山田高女子 ５年ぶり優勝飾る

県高校新人空手道大会で、山田高校が上位に入賞する活躍を見せました。

大会は11月３日と４日、山田高校体育館で行われ、女子団体組手には６チームが出場。山田高は決勝で大船渡高と対戦し、３対２で５年ぶり13度目の優勝を飾りました。また、団体形では男子、女子ともに２位に入賞。その結果、山田高は男女とも来年１月25日から秋田県能代市で開催される、東北大会への出場権を手にしました。

女子主将の山﨑琴絵さんは「優勝できてうれしいです。東北大会では悔いのないように精一杯頑張りたい」、男子主将の佐々木勇太君は「周りの雰囲気にのまれず、山高らしい空手をしていきたい」と抱負を述べていました。

◆出場選手　女子…山﨑琴絵（２年）、小林智子（同）今野千尋（１年）、佐藤詩織（同）、戸田麻希子（同）、昆舞美（同）　男子…佐々木勇太（２年）、佐々木俊作（同）、佐々木伸年（同）、横田浩孝（１年）　《敬称略》

東北大会出場を喜ぶ山田高空手部の皆さん

スポ少剣道大会
黒澤君が準優勝

黒澤　剛（つよし）君
（山田南小３年）

第34回岩手県スポーツ少年団剣道大会で、斉心館の黒澤剛君（山田南小３年）が準優勝に入賞しました。

大会は11月３日、県営武道館で行われ、黒澤君が出場した４年生以下個人の部には、県内から124人が参加。初戦から順調に勝ち進んだ黒澤君は、決勝で藤村選手（盛岡市）と対戦。２－１で惜しくも敗れたものの、見事準優勝に輝きました。

黒澤君は「優勝したかったので悔しかったです。次の大会では優勝目指して頑張りたい」と話していました。

道の駅やまだ

共同募金会からＡＥＤ届く

道の駅やまだに自動体外式除細動器（ＡＥＤ）が設置されました。ＡＥＤの普及と啓発を目的に岩手県共同募金会が実施した「ＡＥＤ設置支援事業」によるもので、県内の８施設に贈られました。道の駅やまだの阿部達也支配人は「さまざまな方が訪れる道の駅には、ＡＥＤ設置の必要性があると感じています。道の駅で使用するだけでなく、緊急時には地域の人たちにも貸し出ししたい」と話していました。

収穫祭で秋の味覚を堪能

試食コーナーには長蛇の列ができました（上写真）／会場は地場産品を買い求める人でにぎわいました

11月3日と4日、道の駅やまだで「収穫祭」が行われました。道の駅登録8周年を記念して開催されたもので、2日間で観光客ら5000人が来場しました。

会場では町内で収穫された新米やダイコン、リンゴ、シイタケなどが販売され、訪れた人たちは山田産の農産物などを次々に買い求めていました。また、荒川地区特製の「熊汁」と「乾椎茸（しいたけ）のステーキ」の試食コーナーには長蛇の列ができ、来場者は秋の味覚を心行くまで堪能していました。

温かいひっつみ汁が無料で振る舞われました（上写真）／にぎわう店内の様子

空き店舗活用事業「街逢室」

来場者で連日にぎわい見せる

山田町市街地活性化委員会では、商店街に活気を生み出そうと、11月17日から25日まで中心商店街空き店舗活用事業「街逢室（まちあいしつ）『おおきに』」を開業しました。川向町の空き店舗を会場にお祭り写真展や美術家百瀬寿さん（盛岡市）の作品展など盛りだくさんのイベントが企画され、期間中は900人が来場しました。17日にはダイコンのプレゼントや中国茶の試飲会が行われたほか、ひっつみ汁の無料試食コーナーでは、用意した100食があっという間になくなるほどの盛況ぶりで、訪れた人たちは温かいひっつみ汁に舌鼓を打っていました。また、18日以降も日替わりで▶いかせんべいのつかみ取り▶お菓子の詰め放題▶包丁研磨チャリティー▶甘酒、玉こんにゃく、おしるこの試食▶生ビールや木樽入りワインを楽しむ会――などさまざまな催し物が行われ、連日多くの来場者でにぎわいを見せていました。

みんなのスペース

ぼくのゆめ

にしむら こうすけ くん
（織笠保育園・6歳）

ぼくはオニヤンマなどの虫が大好きなので、大きくなったら昆虫屋さんになるんだ。

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

「夕市の会」の仲間に感謝

10年間、寝たきりだった母を自宅で介護し、見送ったのは4年前の冬でした。介護づけの生活から開放されて、何もかもが楽になるはずなのにどうしてなのでしょう…。ただただ気持ちも体も疲れるばかりなのです。

そんな落ち込む私を救ってくれたのは「夕市の会」の仲間でした。「つらいんだけど…」と弱音をボソッと言葉にできる場所が私にはあり、一緒になって話を聞いてくれる人がたくさんいたのです。皆さんのおかげで、しばらくして症状も少しずつ回復していきました。誰もが良い時ばかりではないと思うのです。でもそんな時に支え合ったり待ってやったり、ほんの少し気持ちにゆとりを持つことができれば、それがとっても人を楽にしてくれるような気がします。

野菜や花を直売することでおなじみになったお客さまと話をしたり、夕市の会の母さんたちと天候の愚痴を言ったりしながら、毎週夕市の会へ出掛けることで私は助けられました。これからも感謝し大切にしていきたいと思います。ありがとう。

松﨑美代子（船越・58歳）

マナー守って釣りをして

毎朝愛犬を連れて散歩に出掛けます。ある日、前須賀の浜辺を歩いていると、近づいても逃げない2羽の浜千鳥が寄り添うようにしていた。一組のカップルかと勝手に想像して夫婦愛の強い証のように思えた。そんなロマンチックな思いとは裏腹に、その一羽のくちばしには釣り針の付いたテグスがかかっていた。その千鳥は餌もとれず体は衰弱し、寒さに耐えているようだった。気遣うもう1羽を見た時、本当に腹立たしい気がした。

身勝手な釣り人のために罪のないこの野鳥たちがこんな目に遭わなければならないのか。一部の心無い者の仕業かも知れないが、物があふれているとはいえ、あまりにも使い捨ての世の中になってしまった。釣り人よ肝に銘じてマナーを守って楽しんでほしい。

西舘隆（船越・?歳）

今年も町民芸術祭を堪能

町民芸術祭が11月3日と4日に中央公民館などで催された。作品を鑑賞してきたが、どの作品も回を重ねるごとに充実していることを実感した。各部門を見て歩くうち、高齢者大学の作品展示室が今までのように階段を上らずに一階の和室に移されていたのに好感を持てた。また、〝見なおそうふるさとの歴史と文化〟をテーマにした埋蔵文化財公開には目を見張るものがあり、6千年も前の出土品、しかも町内の遺跡から出た土器などを心行くまで堪能。自分だけでなく多くの人に芸術祭へ足を運んでいただきたい気がした。

齋藤忠雄（船越・82歳）

健康予防の大切さを実感

11月7日、南地区健康教室に参加してみました。保健師さんによる食事についての講話とストレッチ体操、最後は氷川きよしさんの「ズンドコ節」に合わせた健康ダンスなど、少人数でも楽しく有意義な2時間を過ごさせていただきました。1日3食、バランスよく、腹八分、間食はしない、太陽を浴びながら数十分のウオーキングなど、簡単なことなのに毎日続けることは難しいもの。自分の健康は自分で守ることが基本であり、健康は自分のため、家族のため、そして医療費改革の一環となります。痛くなる前に予防することが大切だと感じました。

佐藤豊子（境田町・68歳）

夜のしじま
般若心経書きおえて
仰ぐみ空に十三夜

菊地サカヱ（織笠・72歳）

ゆく秋に
今が盛りとサルビアが
国道沿いに咲きみだれをり

大川ヒメ子（大沢・63歳）

立冬の
雨窓たたき知らせてる
早くも霜焼け紅指なりし

大町テイ子（大沢・?歳）

わずかにも
残る視力に朝の陽の
窓の明るさ眼に写る

菊地孝進（船越・86歳）

一人旅どこへ行くのか
おらが町

佐藤兼男（荒川・?歳）

イラスト

古里への便り㉙

ふる里山田同郷の会会員
埼玉県川口市
井上美枝子さん（63歳）
〔境田町出身・旧姓舟田〕

まずもって、長期連載をしていた『週刊ポスト（小学館）』登壇の節は、温かいご支援をありがとうございました。紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

眼うらにいつも一碧万頃を

どんな世界遺産より勝るとも劣らない一碧万頃の山田の海・山・川、そして何よりも老若男女の別は問わない数多の友達。私にとっては掛け替えのない至宝と思っております。眼うらや胸底に刻んでいる熱い思い出を、時折食んでは、ふるさと回帰をしパワーを充電している昨今。回帰は私のカンフル剤で、心のオアシスやもしれませぬ。

さて、残りわずかとなった07年を振り向けば、美しい国の軸はポキリと折れ、前代未聞のドタキャン総理の醜態は何をか言わんやで、

数日後　波は知らないふりをする
背水の明日を危惧する雪をんな

一体、日本丸はどこに向かって走っているのでしょうかね。「和を尊び、無理をしない」をポリシーにしていた善幸さんも、きっと草葉の陰で苦虫をかみつぶしていることでしょう。近年、鈴木善幸顕彰を見聞するにつけ、現役時代を一緒に旅した熱い思い出をあらためて反すうすれば、かれこれ25年前のこと。『初秋の爽やかな風にはためくのぼり、盛岡駅前広場の歓迎ムードは沸点を超えた人、人、人。歓迎の各会場は、いずこも黒山の人だかり。まなざしは熱く優しく光る。沿道は老若男女の小旗と笑顔、ゆく先々での歓迎ぶりは筆舌に表白できぬものあり。ことさら故郷山田の熱気は言わずもがな』。今、25年前に回帰して思うことは数多。古今東西国盗りいす取りゲームで波高しの世相に「無理せず和を尊び職を果たす」とおっしゃる日本丸の船長は孤独な立場、熱い歓迎に感涙したのは鈴木善幸総理だったやもしれませぬ。

昭和57年9月5・6・7の3泊4日「鈴木善幸総理のお国入り」は9月11日（土）ゴールデンタイムの午後10時から54分の放映でテレビ岩手の独占番組でした。同行取材のレポーター役は、私の人生においても生涯忘れ得ぬ最初で最後の歴史的熱い物語になりましたが、この先もよもやま話の中で語り継いでゆくつもりです。

友よ！帰省の折は千語万語を楽しみにしています。

宮古吹奏楽団第10回定期演奏会

指揮者体験コーナーや宮古市出身のプロトランペッター牧原正洋さんとの共演など、楽しい企画が盛りだくさんです。多数ご来場ください。

◆日時　12月15日（土）
　午後6時開演（午後5時半開場）
◆場所　宮古市民文化会館大ホール
◆入場料　400円（当日450円、小学生未満無料）
◆プレイガイド　宮古市民文化会館ほか
◆問い合わせ　宮古吹奏楽団事務局（千代川☎82−5355）へどうぞ。

◆投稿規定　▷住所、氏名、年齢、電話番号を明記。ペンネーム、匿名での掲載を希望する方はその旨をさらに付け加えてください▷住所、氏名が記入されていないものは掲載しません▷営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体をひぼう・中傷するものは掲載できません▷投書を添削することがあります。
◆あて先　〒028−1392（住所不要）山田町役場総務課情報管理担当へ。

町のわたし

今月の題字
大釋瑞優（みゆ）ちゃん
（山田北小２年）

環境保全協定の三者調印式
互いの発展誓い固い握手

11月14日、町と浜川目地区コミュニティー推進協議会、大沢漁業協同組合の三者による環境保全協定調印式が役場特別会議室で行われました。大沢漁協が建設する漁業系廃棄物堆肥（たいひ）化処理施設に関し、良好な環境を保全するため締結されたもので、式には沼崎喜一町長、鈴木徳夫会長、福士剛代表理事組合長ら12人が出席。鈴木会長は「協定の順守と工事の安全を願う」、福士組合長は「協定を順守していきたい」とあいさつ。協定書にそれぞれ調印し交換、お互いの発展を願い堅い握手を交わしました。

山田南小と豊間根小で林業体験
シイタケほだ木作りに挑戦

11月８日と12日、山田南小学校と豊間根小学校では、シイタケの振興と林業に触れる機会をつくることを目的にほだ木づくり体験が行われました。このうち山田南小では、同校裏にある「ふれあいの森」に４年生53人が参加。宮古地方振興局林務部職員の指導を受け、コナラの原木にドリルで約20個の穴を空けて、シイタケの菌が入った種駒を木槌で一つずつ打ち付ける作業を行っていました。子供たちの手で作られたほだ木50本は日陰に設置され、２年後の収穫を目指しています。

豊間根中でファッションショー
生徒のドレス姿に盛大な拍手

11月22日、豊間根公民館主催の講演会とファッションショーが行われました。豊間根中学校の道徳公開授業と合わせて開催されたもので、会場となった同校体育館には生徒や保護者、地域の方など150人が来場。ファッションデザイナーの村田愛子さん（盛岡市）が「夢をあきらめないで」と題して講演しました。続いて行われたファッションショーでは、同校生徒や教諭、地域の方９人がモデルとなり、村田さんデザインの衣装を着て登場。ショーの終盤に、ウェディングドレスに身を包んだ生徒が男性教諭にエスコートされて現れると、会場からはひときわ盛んな拍手と歓声が送られていました。

「ふるさとＣＭ大賞」審査会
30秒で山田の魅力をＰＲ

11月25日、岩手朝日テレビ主催の「ふるさとＣＭ大賞」の審査会が盛岡市で開催されました。同ＣＭ大賞は、県内市町村が地元をＰＲする30秒のテレビＣＭで古里自慢を競い合うもので、６回目となる今年は30市町村が参加。本町からは役場総務課が制作した「山田でも…」を出展しました。作品は、山田にいるといわれている「ホタテ海童（かっぱ）」を調査しながら、町内各所を巡るというものです。結果、惜しくも入賞はできませんでしたが、参加賞として年間20回本町のＣＭが放送されることになりました。同審査会の模様は、12月24日午後２時から同局で放送されます。

山田中地区自主防災会 八幡町の古井戸を再利用
災害発生時の活用を図る

山田中地区自主防災会（東海林博本部長）では、八幡町にある井戸を整備しました。災害時に洗濯や掃除などに使用できるよう、同地区で長年使用されていなかった井戸に手押しポンプを新たに設置。保健所の検査を受け飲用に適するものであれば、同会では非常時の飲み水としての利用も考えているそうです。昭和35年のチリ地震津波を経験した東海林本部長は「災害が発生したときに一番困るのは水です。何をするにも水が必要になるので、生活用水として備えをしておきたい」と話していました。

東北電力などから球根1,000個寄贈
長崎地区の花壇に植え付け

東北電力宮古営業所（外舘忠一所長）などでは、町にチューリップの球根1,000個を寄贈しました。贈呈式は10月29日に役場特別応接室で行われ、外舘所長と関連企業の代表４人が出席。外舘所長が「安定した電力を供給することはもちろん、地域とより良い関係を築いていきたい」とあいさつし、沼崎喜一町長に目録と球根を手渡しました。翌30日には長崎地区の町道沿いの花壇で植え付け作業が行われ、山田南小４年の児童と飯岡地区住民自治会、東北電力の社員ら82人が参加。球根が参加者の手により、一つ一つ丁寧に植えられていました。

長崎地区の花壇に球根が植え付けられました（写真上）／10月29日に行われた贈呈式の様子

シリーズ：変わる医療制度③

後期高齢者医療制度の保険料決定

被保険者一人一人が負担

11月13日に行われた介護予防山田教室

11月19日に県後期高齢者医療広域連合議会が開催され、来年4月から始まる後期高齢者医療制度の保険料が決まりました。

保険料は均等割所得割の合計額

保険料は、被保険者全員が人数割りで負担する「均等割額」と被保険者の所得に応じて負担する「所得割額（所得×所得割率）」の合計額で計算されます。均等割額と所得割率は、各県の広域連合が独自に決定するもので、岩手県広域連合では、均等割額を3万5800円、所得割率を6・62％と定めました。

なお、世帯の所得が一定以下の場合は均等割額が7割から2割の範囲で軽減されます（下表）。

ただし、被保険者や世帯員が申告をしていないなど世帯の所得が分からない場合は、保険料の軽減を受けられないことがありますのでご注意ください。

被扶養者も全員が負担

従来の老人保健制度では、被用者保険（健康保険組合、船員保険、社会保険、共済組合など）の被扶養者は保険料の負担がありませんでしたが、後期高齢者医療制度では被扶養者の皆さんも保険料を納めていただくことになります。

ただし、被用者保険の被扶養者でこれまで保険料を負担していなかった方は、被保険者になってから2年間は均等割額の半分が保険料になります。さらに経過措置として、来年4月から9月までは全額が減額となり、10月から翌年3月分までは9割が減額されます。

納付する方法は2種類

保険料を納める方法には「普通徴収」と「特別徴収」があります。特別徴収は、年額18万円以上の年金を受け取っている方が対象で、来年4月分の年金から保険料の天引きが開始されます。また、普通徴収は保険料と介護保険料を合わせた額が年金の半分を超える方が対象となり、町が発行する納付書で納めていただきます。普通徴収は、来年7月から実施されます。

窓口負担割合は凍結に

70歳から74歳までの前期高齢者の方で医療機関での窓口負担が1割の方は、来年4月から2割に引き上げられる予定でしたが、平成21年3月まで1割負担のまま凍結されることになりました。対象となっている方には、新しい受給者証を来年3月中にお送りします。

◆問い合わせ　役場住民生活課医療給付担当（☎82－3111内線124）へどうぞ。

◆保険料（均等割額）軽減の対象と割合

世帯の総所得金額	軽減割合
基礎控除額（33万円）を超えない世帯	7割
24.5万円×世帯の人数（本人除く）＋33万円を超えない世帯	5割
35万円×世帯の人数（本人除く）＋33万円を超えない世帯	2割

◆保険料計算例（夫婦2人、年金収入のみの世帯の場合）

世帯構成	収入	所得	軽減割合
世帯主（75歳）	1,680,000	480,000	7割
妻（75歳）	1,200,000	0	
合計	2,880,000	480,000	

▶世帯主の保険料
所得割額　（所得480,000円－基礎控除330,000円）×6.62％＝9,930円
均等割額　35,800円－（35,800円×70％）＝10,740円
保険料年額　9,930円＋10,740円≒**20,600円**（100円未満切り捨て）

▶妻の保険料
所得割額　（所得0円－基礎控除330,000円）×6.62％＝0円
均等割額　35,800円－（35,800円×70％）＝10,740円
保険料年額　0円＋10,740円≒**10,700円**（100円未満切り捨て）

中学生の「税についての作文」

豊間根中の木村翠さんが仙台国税局長賞に輝く

受賞を喜ぶ木村翠（みどり）さん（写真中）、木村瑠奈（るな）さん（写真右）、芳賀貴弘（たかひろ）君

全国納税貯蓄組合連合会が募集した中学生の「税についての作文」で、豊間根中３年の木村翠さんが仙台国税局長賞に輝きました。同作文は税の仕組みや役割を正しく理解してもらおうと実施されているもので、全国６７６５校から47万６７５３編の応募がありました。

木村さんの作文のテーマは「一人の納税者として」。身近にある公共物や行政サービスなどから税金の果たす役割を実感し、暮らしに密接に関係していることを訴える内容となっています。

木村さんは「受賞できてうれしいです。作文を通じて、税金がわたしたちの暮らしになくてはならないものだということを感じました。大人になったら、きちんと税金を納めて社会に貢献したい」と話していました。

また、宮古税務署長賞には木村瑠奈さん（豊間根中３年）、岩手県納税貯蓄組合連合会長賞には芳賀貴弘君（同）が選ばれています。

所得税決算説明会を開催

宮古税務署では、個人を対象とした所得税の決算説明会を開催します。

▽**白色申告**
・期日　12月5日（水）
・時間　午前10時～11時半
・場所　宮古合同庁舎４階会議室（宮古市小山田）

▽**青色申告**
・期日　12月7日（金）
・時間　午後1時半～3時
・場所　町中央コミュニティセンター

◆**問い合わせ**　宮古税務署個人課税部門（☎62－1921）へどうぞ。

町税滞納者への処分を強化

すでに64件を差し押さえ

町税の滞納額が増えています。５月末現在で、町民税や固定資産税などの普通税が２億１千万円、国保税は３億６千万円を超えています。

町では、滞納額を減らすことを重点的に進めるため、滞納処分を強化することにしました。これまでは滞納している人に催告書を送り、戸別訪問などで納めてもらうようお願いしてきましたが、なかなか完納に結び付いていませんでした。そこで、４月から滞納者の預金や給料、不動産（土地や建物など）、動産（自動車やテレビなど）の差し押さえを積極的に実施し、すでに64件が差し押さえとなっています。

さらに、悪質な滞納者に対しては昨年10月に設置された「県地方税特別滞納整理機構」に依頼。財産の調査や捜索、差し押さえ、公売などを行うことにしています。

決められた期限までに納めることができない事情がある場合は、分割で納めるなどのご相談に応じますので、税務会計課収納対策室へご連絡ください。

◆**相談先・問い合わせ**　役場税務会計課収納対策室（☎82－3111内線115）へどうぞ。

町長室から

本年度第一回の鮭（さけ）まつりが雲一つない快晴のもと11月25日に開催されました。数日来の寒さがうそのように気温も上がり、町内外からの大勢のお客さまでにぎわいました。鮭のつかみ捕り第一回の開会に当たり私から次のような歓迎のことばを述べました。「食の安全安心が今問われています。皆さまご覧のとおり、このきれいな水の織笠川に帰ってくる鮭こそ、皆さまが安心して食べていただけるものです。鮭に限らず山田町でとれる海産物はすべて安全安心です。帰りにはたくさんのお土産をお買い求めください。最近日本人の魚離れが進んでいると言われていますが、健康に大切な栄養分が魚にはたくさん含まれているそうです。もっと魚を食べて健康になってください。子供さんも大勢参加していますが、今日の体験を通じて魚に関心を持ち、もっと好きになっていただくことを期待します」。

山田町長　沼崎　喜一

おしらせ

国民年金基金に加入しませんか

国民年金基金制度は、自営業者などの方々の豊かな老後を実現するため、基礎年金の上積年金として給付を行う公的な年金制度です。

毎月の掛け金は、加入するタイプ、性別、加入口数によって異なります。加入途中で掛け金が納められなくなったときは、加入口数を減らしたり一時的に支払いを休んだりすることもできます。また、掛け金は全額「社会保険料控除」の対象となるほか、受け取る年金にも「公的年金控除」があり、税制面でも優遇されています。

岩手県国民年金基金に加入できる方は、県内に住所がある20歳以上60歳未満の自営業者などの国民年金第1号被保険者で、保険料を納めている方や学生納付特例の承認を受けている方、若年納付猶予を受けている方、農業者年金に加入している方は加入することができません。

◆申込先・問い合わせ　岩手県国民年金基金（☎0120−65−4192）へどうぞ。

老後の安心 今から準備

町の期限付臨時職員を一般公募

町では、期限付臨時職員を募集します。選考方法は書類審査（履歴書）と面接です。

▷職種　一般事務補助
▷募集人数　2人
▷勤務場所　税務会計課
▷応募資格　町内に住所があり、パソコン操作のできる人
▷賃金　日額5,400円
▷任用期間　来年1月1日〜3月31日
※必要がある場合は最大8カ月まで期間が更新されます。
▷申し込み方法　役場住民生活課または各支所に備え付けの履歴書に必要事項を記入し、総務課へ提出してください。
▷申込期限　12月13日
▷問い合わせ　役場税務会計課町民税担当（内線111）へどうぞ。

岩手県学生会館の入寮生募集します

㈱岩手県学生援護会では、東京都豊島区にある「岩手県学生会館」の入寮生を募集します。

▷入寮資格　岩手県出身者で寮から通学可能な地域に所在する昼間の大学、短大、専修学校の専門課程に入学する学生
▷入寮期間　入寮後2年間
▷申込期間　前期…来年1月30日〜2月13日　後期…来年2月27日〜3月12日
▷申込書の配布先　町教育委員会事務局総務担当（内線331）
▷申込先・問い合わせ　㈱岩手県学生援護会事務局（〒100−0014　東京都千代田区永田町一丁目4番1号☎03−3581−0341）へどうぞ。

第4回山田町議会定例会

▷日時　12月5日（水）開会
午前10時〜
どなたでも傍聴できます。
詳しい日程などについては、町議会事務局（☎82−3114）へお尋ねください。

町営住宅の入居者を募集します

町では、町営住宅の入居者を募集します。

▷団地名　希望ケ丘（織笠）
▷戸数　Aタイプ…1戸
Bタイプ…3戸
▷間取り　Aタイプ…3畳、6畳×2、台所、トイレ、浴室
Bタイプ…6畳×2、台所、トイレ、浴室
▷家賃　5,700円〜15,900円
▷入居資格　次の条件をすべて満たす人です。①現に住宅に困っており、原則として同居する家族がいる（単身者は除く）②町税を滞納していない③条例で定める所得である。
※家賃3カ月分の敷金と連帯保証人2人が必要です。
▷申込期間　12月3日〜7日
※期間内に申し込みがない場合は、随時受け付けます。
▷申込先・問い合わせ　役場地域整備課建築住宅担当（内線251）へどうぞ。

製造業を対象に統計調査を実施

製造業を営む事業所を対象に、平成19年12月31日現在で工業統計調査を行います。本年12月中旬から来年1月にかけて調査員がお伺いしますので、ご協力をお願いします。調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確に記入願います。なお、本年の調査より調査項目の一部を改正しましたので、記入に当たってはご注意ください。

▷問い合わせ　役場総務課情報管理担当（内線416）へどうぞ。

12月の行政相談日

▷日時　12月20日（木）
午前10時〜正午
▷場所　町中央コミセン
※行政について納得できないことなどご相談ください。

1〜3歳児対象の幼児食教室を開催

町では、幼児食教室（ぱくぱくバンビ教室）を開催します。当日は、ボランティアの皆さんによる託児コーナーを設けますので、お気軽にお越しください。

▷日時　12月25日（火）
午前9時半〜正午
▷場所　町中央コミュニティセンター和室・調理室
▷対象　1歳から3歳までのお子さんをお持ちの保護者
▷内容　幼児食の調理実習と講話、個別相談
▷持参する物　筆記用具、エプロン、三角きん、おんぶひも、お子さんの外出に必要な物
▷申込期限　12月20日
▷問い合わせ　役場保健福祉課健康づくり担当（内線161）へ。

社会福祉協議会で非常勤職員を募集

山田町社会福祉協議会では、平成20年4月1日採用予定の非常勤職員を募集します。

▷募集職種　相談員兼事務員
▷勤務形態　非常勤職員（1年任期、更新可能）
▷採用予定人数　1人
▷応募資格　次の①②の条件は必須とし、③を満たす人が望ましい。①専門学校、短大、大学などを卒業した人（卒業見込みを含む）②普通自動車運転免許の取得者（取得予定者を含む）③社会福祉士または社会福祉主事任用資格取得者（取得予定者を含む）
▷申し込み方法　山田町社会福祉協議会事務局に備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、提出してください。
▷提出期間　来年1月9日〜19日
▷試験日　来年2月1日
▷試験会場　町保健センター
▷申込先・問い合わせ　山田町社会福祉協議会事務局（〒028−1341　山田町八幡町3番20号　☎82−3841）へどうぞ。

町読書感想文コンクールにご応募を

「第40回町読書感想文コンクール」が開催されます。皆さんのご応募をお待ちしています。

▷対象　小学生以上
▷応募基準　小学1、2年生…400字詰め原稿用紙2枚以内
小学3年生以上…原稿用紙3枚以内　中学生…原稿用紙4枚以内　高校生以上・一般…原稿用紙5枚以内
▷応募方法　来年1月25日までに町立図書館に郵送または直接提出してください。
※小・中学生、高校生は学校を通じて提出してください。
▷応募先・問い合わせ　町立図書館（町中央コミュニティセンター内　山田町八幡町3−20　☎82−3420）へどうぞ。

銃剣道の大会と訓練を一般公開

航空自衛隊山田分屯基地では、本県で開催される銃剣道大会と銃剣道訓練を一般公開します。

―― 銃剣道大会 ――

北海道および東北地区の強豪10チームから勝ち残った4チームによる準決勝と決勝戦が行われます。

▷期日　12月11日（火）
午後3時〜5時
▷場所　山田分屯基地
※当日は送迎バス（陸中山田駅〜山田分屯基地）を運行しますのでご利用ください。
・陸中山田駅発：午後2時
・分屯基地発：午後5時15分

―― 銃剣道訓練 ――

選抜された選手たちの練習の模様をご覧いただけます。

▷期日　12月8日（土）、9日（日）
▷時間と場所
・午前9時〜午後4時…県立陸中海岸青少年の家体育館
・午後1時半〜午後3時半…山田勤労者体育センター
◆問い合わせ　航空自衛隊山田分屯基地（☎82−2636）へ。

クリスマス絵本展 町立図書館で開催

▷期間　12月13日〜22日
▷時間　午前9時〜午後5時
▷場所　町立図書館（町中央コミュニティセンター内）
▷内容　クリスマスに関する絵本や物語約100点の展示
※展示本の貸し出しもします。
▷問い合わせ　町立図書館（☎82−3420）へどうぞ。

福祉バザーを開催 皆さんのご来場を

町内の福祉団体などでは、福祉バザーを開催します。

▷日時　12月9日（日）
午前10時半〜正午
▷場所　町中央コミュニティセンター2階集会室
▷申込先・問い合わせ　役場保健福祉課地域福祉担当（内線133）へどうぞ。

主婦を対象にした防衛モニター募集

防衛省では、防衛および自衛隊に関する意見・要望を皆さんからお聞きし、今後の諸施策に反映させることを目的として、防衛モニターを募集します。

▷応募資格　30歳から39歳までの職業を持たない主婦の方
▷採用人数　1人
▷活動内容　自衛隊の部隊見学や各種行事への参加、アンケートによる意見の聴取など
▷委嘱期間　平成20年4月から22年3月までの2年間
▷申込期限　1月15日
▷問い合わせ　航空自衛隊山田分屯基地（☎82−2636）へ。

12月の町長面談日

▷日時　12月17日（月）
午前10時〜正午
▷場所　役場4階特別応接室
※面談希望の人は役場総務課内線413へご連絡ください。

まちで出会ったかわいい笑顔

広報クイズ 246

三つの中から正しいものを選んで、応募してね。

❶平成18年度の一般会計バランスシートによると、町民一人当たりの資産はいくら？
Ⓐ160万円
Ⓑ170万円
Ⓒ180万円

❷今号の「みんなのスペース」に掲載されているイラストの数は何枚？
Ⓐ23枚　Ⓑ24枚　Ⓒ25枚

❸災害時に活用するため、このたび古井戸を整備したのは、どこの地区の自主防災会？
Ⓐ船越　Ⓑ織笠　Ⓒ山田中

❹今号の「1歳になりました」に登場している赤ちゃん8人のうち、女の子は何人？
Ⓐ3人　Ⓑ4人　Ⓒ5人

【応募方法】 はがきに①クイズの答え②住所③氏名④年齢を明記の上、応募ください。全問正解者の中から抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。応募は一人1通です。

【応募先】 〒028−1392（住所記載不要）山田町役場広報クイズ係

【締め切り】 12月17日（当日消印有効）

☆前回の正解は①−B、②−C、③−A、④−Bでした。応募者は40人で38人が正解。抽選の結果次の10人が当せんしました。
山田＝佐々木耀（12）、佐藤澤美咲（?）　八幡町＝瀬川さくら（?）　長崎＝木戸脇瑠南（9）　船越＝佐々木楓夏（4）　田の浜＝白土功大（11）　織笠＝田村彩子（11）、尾形美月（11）、糠森和（12）　荒川＝斉藤智博（13）　〈敬称略〉

発行／岩手県山田町　〒028－1392岩手県下閉伊郡山田町八幡町3－20　☎0193－82－3111　編集／総務課

おめでた・おくやみ

10月届け出分（敬称略）

〔出生〕（　）は保護者と性別

▷**山田**　堀合玲奈（徹・女）、櫻井結衣（和彦・女）、大川彩（賢・女）

▷**船越**　佐藤音羽（純一・女）

▷**織笠**　佐々木仁愛（政良・女）、堀合楽翔（武彦・男）、芳賀秀虎（歩・男）

▷**大沢**　佐々木清名（克喜・男）、藤田脩維（新二・男）、柏谷翼（忠己・男）

〔結婚した二人〕（　）は住所

見山佑介（大沢）・佐々木尚（宮古市）

佐々木憲一（大沢）・越田祐子（宮古市）

湊智幸（北浜町）・千代川幸恵（大沢）

山﨑勉（宮古市）・熊谷祐美（船越）

伊藤彰英（宮古市）・昆のり子（織笠）

鳥居優（境田町）・山崎吉子（境田町）

佐々木義明（豊間根）・佐々木一美（船越）

〔死亡〕（　）は年齢

▷**山田**　佐藤サメ（79）、船越敬三（83）、大手ソヨ（73）、佐々福右エ門（79）、佐々木ミヤ（87）、阿部カホル（84）、織笠ユリ（83）、阿部アサ子（69）

▷**船越**　佐々木英子（52）、田代トメ（96）

▷**田の浜**　篠澤冨子（70）

▷**大浦**　山根ハツ（82）、赤瀬マヨ（89）、岡市健壽（89）

▷**織笠**　昆健次郎（78）、荒川徹（70）

▷**大沢**　阿部瑞穂（63）

▷**豊間根**　鈴木レツ（99）、芳賀喜平（90）、尾形芳美（85）、佐藤馬之烝（89）

▷**荒川**　芳賀ハナ（88）、齋藤ハナ（87）

町民のうごき

（10月１日～31日）

▷出生……11人　▷転入……44人

▷死亡……30人　▷転出……43人

▷人口…20,127人（今月減18人）

男…9,668人　女…10,459人

▷世帯数……7,235世帯

ピンボケ

◆ふるさとCM大賞の審査会が終了しました。撮影にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。結果は残念でしたが、また来年頑張ります。（和）

◆鮭まつりを取材しました。今年は例年より暖かく、イベントには絶好の小春日和。とはいえ、長靴のすき間から入ってくる川の水は、やはり身にこたえました。（幸）

柴田光樹（大浦・光昭・男）

斎藤彪斗（荒川・博樹・男）

稲川孝太朗（織笠・勝仁・男）

阿部姫華（大浦・幸治・女）

花﨑伸平（織笠・秀平・男）

12月生まれ 赤ちゃん紹介 一歳になりました

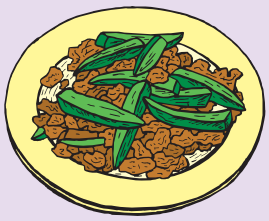
山﨑瑠唯（大浦・友勝・女）

白土心愛（船越・剛・女）

佐藤愛来（荒川・英明・女）

※敬称略、（　）内は地区名・保護者・性別です。

山田の食材を使ったアイデア料理を募集



山田の魅力発信実行委員会では、新たな名物料理を開発するため、山田の食材を使ったアイデア料理作品を募集しています。

◆応募資格　プロ、アマは問いません。親子、グループ、料理教室などでの参加もできます。ただし、試食審査会（２月３日）に料理作品を持参できる人に限ります。

◆作品テーマ　山田の食材を使っていれば、ごはん、めん（汁物）、おかずなどジャンルは問いません。

◆応募方法　①参加者氏名②参加者住所③連絡先④料理名⑤レシピを明記し、料理作品の写真を添付の上、事務局へ郵送または持参してください。

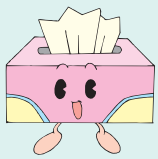
◆賞　グランプリ…10万円（１人）　奨励賞…２万円（４人）
ちびっ子優秀賞…２万円分の商品券（１人）

※入賞作品のレシピなどの権利は同実行委員会に帰属します。

◆応募締め切り　12月31日

◆応募先・問い合わせ　山田の魅力発信実行委員会事務局（山田町商工会内☎82－2515）へどうぞ。

インフルエンザ予防のポイント



インフルエンザの流行シーズンに入りました。次の３つのポイントを心掛け予防に努めましょう。

① 重要〝咳エチケット〟を守りましょう！
▷咳やくしゃみがでるときはティッシュで口と鼻を覆いましょう▷人ごみではできるだけマスクを着用しましょう。

②医療機関を受診するときは必ず〝マスク〟を着用しましょう！

③手洗い・うがいを励行しましょう！

◆問い合わせ　宮古保健所（☎64－2218）へどうぞ。